

Japan Tug of War Federation magazine

TSUNA・綱

2025
春号



2025 全日本綱引選手権大会

つなフェス「それ引け！つなひきスクール」in 広島
2025 東海オープン綱引大会
特別表彰者 / 競技役員永年功労賞

スポーツくじ



すべてのスポーツにエールを

スポーツくじの収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。



スポーツ振興基金助成事業
独立行政法人日本スポーツ振興センター

石井会長 ごあいさつ

「2025全日本綱引選手権大会」が滋賀県近江八幡市近江八幡運動公園体育館で令和7年3月2日(日)に実施され、昨年度より多い66チームにより熱い戦いが行われました。

当初は初めての東京以外での全国大会であり、交通の便、宿泊の件、体育館が狭いこと、また連盟の最大の大会で不慣れな点、等々問題点も多くありましたが、実行委員会の皆様、近畿、関東ブロック各綱引連盟の絶大なる協力、特に滋賀県、近江八幡市、滋賀県綱引連盟の方々の協力を得て実施し、成功裏に終了しましたこと、心より感謝すると共に喜ばしい限りでございます。

また、日本全国(北海道～九州まで)各地より参加頂きました選手の方々の協力も大きな成功に結びついたと思っております。

一面では、綱引はどこでも出来る事が証明されたのではないかと思います。綱引スポーツの魅力、それは誰にもおかせない聖域だと考えます。

そういった意味から今全国で裾野を広げる為、「綱引スクール」を実施しております。綱引競技に自信を持ち、綱引に関わる一人一人が拡大に努力されん事を期待し、日頃の努力を心より願うものであります。

公益社団法人 日本綱引連盟
会長 石井 良之



つなフェス 「それ引け!つなひきスクール」 in 広島

令和7年2月16日(日)「くすのきプラザ」認定こども園つばめホール(広島県広島市)にて、つなフェス「それ引け!つなひきスクール」が盛大に開催されました!小学1年生から高校3年生まで、またその保護者さまも参加し、総勢33名の参加、とっても賑やかで楽しい体験教室になりました。

それ引け!つなひきスクールは、スポーツくじ助成事業として日本綱引連盟主催、開催地綱引連盟が主管となり“運動会の綱引きから競技としての綱引へ”を目的に普及活動として2023年よりはじまりました。

JSPO公認の綱引指導者が主導となり、基本の姿勢やルールを説明。そのあと実際に綱を引っ張って体験会の始まり!



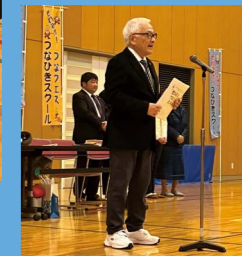
みんな元気に「おはようございまーす!」



石井会長も子供たちに指導していました!



オープニングでは楽打家さんの和太鼓で盛り上がりました!



日本綱引連盟 石井会長



岸田ご夫人よりご挨拶



広島県綱引連盟 前垣会長



ユースアスリートのお姉さんがやさしく指導してくれました! 雄郡TCの皆さんありがとうございました



チームで分かれて模擬試合もやってみました



みんな、綱引っておもしろいでしょ?! 一瀬理事ありがとうございました



みんなの気持ちを1つにしよう!



全日本アスリートの模擬試合は迫力満点でした



さあ! ひいてみよう

現役のユースアスリートや全日本選手権出場経験アスリートがやさしく丁寧に教えてくれました!!
やればやるほど……みんな……熱くなってきて、「もう1回!」「もう1回!」の声で終了時間が延長するほどでした。
最後は、広島県代表アスリートの皆さんによる模擬試合、間近でみるその迫力にみなさん圧倒された様子でした!
すごく楽しかった! また参加したい! との声もいただき、多くの方に満足いただけた2024つなひきスクールでした。
ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました!!
ご協力いただいた役員のみなさま、アスリートのみなさま、お疲れさまでした!



楽しかったね! 全員集合でパチリ

～2025年度のそれ引け!つなひきスクールの予定は、全国4カ所にて開催予定。日本綱引連盟公式HPにて掲載いたします～



場所: 滋賀県近江八幡運動公園体育館
 期日: 2025年3月2日(日)

前牟田大木町TCの松内選手とマドンナリリーの石津選手の選手宣誓で競技開始となった。開会式の時間を利用してアンチドーピングに対する講習会が連盟の橋本理事から行われた。

毎年のことだが、今年も関西ブロック始め南のチームの強さが際立った。特に女子の大阪マドラーズは、予選リーグ初戦で追い詰められる場面もあったが、問題なく圧倒的な強さであった。他ブロックのチームの奮闘を期待したい。特に来年の国スポは、青森県で開催されることもあり、東北ブロックの強化をお願いしたい。その中で久しぶりに北海道からの参加があった。かつての強豪チーム「旭川BL」の参加であった。これからもかつて全日本に出場チームの再参加が望まれる。大会結果は下記の通りである。

| 男子の部 (600kg) | | |
|--------------|-----------|---------|
| 優勝 | 神戸消防 | 兵庫県 |
| 準優勝 | 綱鬼志 | 福井県(推薦) |
| 3位 | 田代ふるさと | 秋田県 |
| 3位 | 京都消防ろぶすたあ | 京都府 |

(公社)日本綱引連盟
 企画広報委員長 櫻庭 星治

今年の全日本綱引選手権大会は、初めて関東圏から離れて、関西ブロック滋賀県近江八幡市で開催された。会場は市の郊外にある、近江八幡運動公園体育館で行われた。今までの東京駒沢体育館と比べると、アリーナは狭くギャラリー数も少ない体育館で会った。初めての会場のため、スタッフも前々日から準備に取りかかった。いつもよりスタッフが少ないため、地元の綱引チームの応援を頂きながら準備し大会を迎えた。

今年の参加チームは男子44チーム、女子22チームで、今年も特別予選会を開催せずエントリーチームが全て本戦に出場となった。江畑副会長の開会宣言の後、石井会長の挨拶、そして滋賀県の三日月知事の歓迎の祝辞で、琵琶湖を始め滋賀県の観光を楽しんで貰うよう挨拶のあと、近江八幡市の小西市長から、今年の国民スポーツ大会公開競技綱引会場が近江八幡市とのこともあり選手、関係者の参加を期待している旨の挨拶であった。

開会式で20年連続出場のマドラーズ大阪、緒方チャッターズの表彰がなされた。また競技役員として永年大会に協力した栗原房子氏、小倉良友氏、武内昭氏に特別表彰がなされた。永年の大会運営および連盟の運営協力に対し頭の下がる思いである。



| 女子の部 (500kg) | | |
|--------------|-----------|---------|
| 優勝 | マドラーズ大阪 | 大阪府(推薦) |
| 準優勝 | ファンキーガールズ | 福井県(推薦) |
| 3位 | 緒方チャッターズ | 大分県(推薦) |
| 3位 | LR石川 | 石川県(推薦) |

男子の部 優勝

神戸消防

兵庫県

創部36年。当時の先輩方が、消防署単位で娯楽目的で始めた綱引き。県内の大会に出場するも、惨敗した事で猛者達の闘志に火が着き、神戸消防全体で強いチーム、勝てるチームを、との強い思いから結成された神戸消防の前身、ファイアーレスキュー神戸。

結成の2年後には、兵庫県綱引選手権を制し、初の全日本選手権へ出場するも、残念ながら予選敗退。翌年も全日本出場を果たし、決勝トーナメントにまで進みますが、その1回戦、同業で、当時最強の金沢レスキュー隊に完全に力負け。その後は、巻き返しを図るも、相次ぐ主力選手の離脱や、後に起こる阪神淡路大震災で、部は壊滅状態となってしまいました。

長い低迷期を経て、何とか全日本選手権に出場出来るところまでチームは復活し、今年こそはと、覚悟を決め、仕上げにかかっていたところに、コロナ流行。軒並み大会が中止となる中でも、我々は、消防士という特殊な職種、環境の中で、寝食を共にする仲間だからこそ生まれた強い絆(継)、培ってきた強固なチームワークで、これらの難局を何とか乗り越え、コロナ明けの全日本で3位、昨年も3位。そして、機は熟した今年、全日本綱引選手権優勝という最高の形で結果を残せた事、大変嬉しく思っています。

我々、とにかく練習しました。考えました。格上のBIWAKO同志会さんや京都消防ロブスターさんの方々に、胸を借り、引きずり回されながらも、いつかは必ず...という思いで努力し続けた事が、集大成の大会でようやく実を結んだものと思っています。今年は、試合はもちろん、チーム内での日々の練

女子の部 優勝

マドラーズ大阪

大阪府

マドラーズ大阪は、今年で全国大会20年連続出場することができました。これも長い競技生活の中でお世話になった諸チームの皆様のおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。

このチームはもともと大阪の2チームが合併してできたチームで、監督、キャプテンなどの役割は設けず、選手が運営しているチームです。結成当時は、背が高くて体重もある選手が多く、人数も12人と恵まれていたので、試合に出るメンバー選別に苦労しました。

徐々にメンバー入替えがあり、人数が足りず全日本出場が危ぶまれる時期もありました。必死にメンバーを増やし、人数不足の危機も乗り越え、今のメンバーになりました。

今のメンバーになってからは軽量チームになり、プレイスタイルもガラリと変えました。当初の初めから踏んで行くスタイルから、スタート以降無理に踏まない、ホールドするス



習でも、内容は一変。一本一本、勝ちにこだわり、自分達の今まで乗り越えてきた苦難、経験も踏まえ、決して諦めずに、引き続ける事、それらが次第にチームに根付き、個々も最後まで、戦う姿勢を貫けるようになった事が勝てた事の最大の要因と感じています。

この経験は、綱引きだけではなく、これからの人生に於いても非常に大きな財産になるとも感じており、この本当に素晴らしい競技綱引きを、如何に後世に伝えていけるかが、我々の今後の課題であるとも考えてます。

国内に於いて、小学生では、全日本ジュニアをはじめ、盛んに大会等も行われてはいますが、中学以降、高校、大学と大会、競技は殆ど(全く)ありません。部活動としても無く(?)、この事が競技人口の減少に直結していると思われます。この素晴らしい競技綱引きを絶やさない為にも、組織として、中体連や高体連に働きかけていただく事を切に願い、我々選手側も裾野を広げる事に努めていく事が、今後の綱引きの発展に繋がっていくものと思っています。



タイトルにしました。また、アンカーと7番の距離を極端に短くしたり、プラーの選手間の距離を縮めたり、水平ラインにも挑戦しました。マドラーズは、強くなるためにどんどん新しいことに挑戦できるチームです。

今大会でも、みんなで力を合わせて練習、挑戦してきたことを活かすことができました。来年の大会に向けて、これからも様々なことに挑戦していき、パワーアップしたマドラーズをお見せしたいです。



2025 全日本綱引選手権大会 特別表彰

長年にわたり全日本綱引選手権大会競技役員としてご参加いただき、かつ綱引競技発展にご尽力いただいた方を表彰いたします

小倉 良友 神奈川県

この度は特別表彰を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、私の綱引きは昭和62年頃町内会長の指示で神奈川県綱引連盟主催の研修会に出席したのが綱引きに携わる始めでした。その後、一緒に研修会に出席した仲間と戸塚区連を立ち上げました。現在も区大会を行っていますがチーム数が減少して大会存続が困難になりつつあります。
私は審判をするのが好きで、焼津、他、地方大会に何度か参加し、そこで、楽しい審判をさせて頂いています。全日本綱

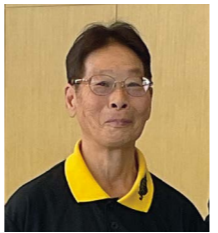
引大会にも参加いたしましたが数年前から2Aと言う資格の為、主審は出来ませんが競技部で、レーン記録、選手集合を担当して大変勉強になっています。
私も年齢80歳を超えたのでいつまで参加出来るか不安になりますが今後多少なりとも綱引きに関わっていきたいと思います。



栗原 房子 群馬県

私と綱引きとの出会いについてですが、家族で北毛青年の家に遊びに行った時のことで、その時に綱引きの研修会に参加した人から「綱引きってけっこう面白いよ」と誘われたのがきっかけでした。さっそく審判講習会を受け審判員になって、群馬県内の競技会に参加するようになりました。すると地元の大会、県の大会といつしか声を掛けられるようになり、参加するたびに仲間や地域の連帯感を感じながら楽しさにひかれ、審判講習会や技術講習会に積極的に参加するようになり、地域の綱引き協会の立ち上げるまでに至りました。振

り返ってみればいつの間にか日本中の仲間とともに北から南まで駆けまわるようになっていました。
仲間との感動とともに、皆様の暖かい応援のもと、大変な賞をいただきほんとうに有難うございました。これからも皆様とともに綱引きを楽しみ、綱引きを盛り上げてゆきたいと思います。
この度は表彰いただき、誠にありがとうございました。



武内 昭 蒲郡スポーツ少年団「蒲郡ドロップス」 団長

2025全日本綱引選手権大会、競技役員永年功労賞ありがとうございました。愛知県綱引連盟の武内昭です。
愛知国体市区町村対抗の綱引き大会に参加する蒲郡市の女性チームの練習相手となり、綱引競技と出会いました。
練習後のビールが美味しかった事を今でも鮮明に覚えています。その後、男子チームも結成され、次第に真剣に練習

するようになり、綱引大会に参加するようになりました。
「審判が足りないから、手伝って下さい」と声をかけていただき審判資格を取得、その後多くの試合の審判をさせていただきました。
1999年に愛知県で第1回全日本ジュニア綱引選手権大会が開催される事になり、第6回全日本ジュニア綱引選手権大会まで愛知県開催をお手伝いさせていただきました。
県内にはジュニアチームも多く、とても楽しかった思い出があります。そのころに公認審判員AAA認定されました。
蒲郡市はロープの産地でもあります。綱引競技人口減少で、子供達もロープを持たなくなった今、指導者(コーチ)の資格を有効に活用し、12年前にスポーツ少年団「蒲郡ドロップス」を立ち上げ、年長から、中学3年生まで総勢50名、バドミントン・綱引に汗をかいて楽しんでいます。
2023・2024、全日本ジュニア女子340kgに連続優勝していますので、2025全日本ジュニア女子340kgに勝ちに京都にいきたいと思います。



2025年2月2日(日) 2025東海オープン綱引大会 大垣市総合体育館



| 男子の部 | |
|------|-----------|
| 優勝 | 神戸消防 |
| 準優勝 | BIWAKO同志会 |
| 3位 | 進友会 |

| 女子の部 | |
|------|---------|
| 優勝 | リトルオリーブ |
| 準優勝 | このはな咲耶 |
| 3位 | アイリス倶楽部 |

| 一般男子の部 | |
|--------|---------|
| 優勝 | のんちゃんず |
| 準優勝 | うなぎドラゴン |



日本綱引連盟公式サポーター ご協力をお願い



詳しくは
当連盟まで



設立趣旨

現在当連盟では「日本綱引連盟公式サポーター」を立ち上げ
ご加入いただき、応援して下さる方々を募集しております。
この制度は、当連盟が寄付金の税額控除適用法人であることを
ご利用いただき、多くの企業や個人の方々のご支援をもと
に青少年健全育成・国体正式種目早期実現・中高校生の部活
取り入れ・世界大会自国開催・選手人口増加に役立たせてい
ただいております。

日本綱引連盟は、これからも綱引き文化の継承・発展のため
自治体や教育文化関係等の方々との協力し、活動して参ります。
詳しくは当連盟スタッフより、ご説明させていただきますので、
何なりとお申し付けください。

公益社団法人 日本綱引連盟
会長 石井 良之

募集要項

| | | |
|----------------|----|----------|
| ご支援会費 (年会費) | 法人 | 30,000 円 |
| | 個人 | 10,000 円 |

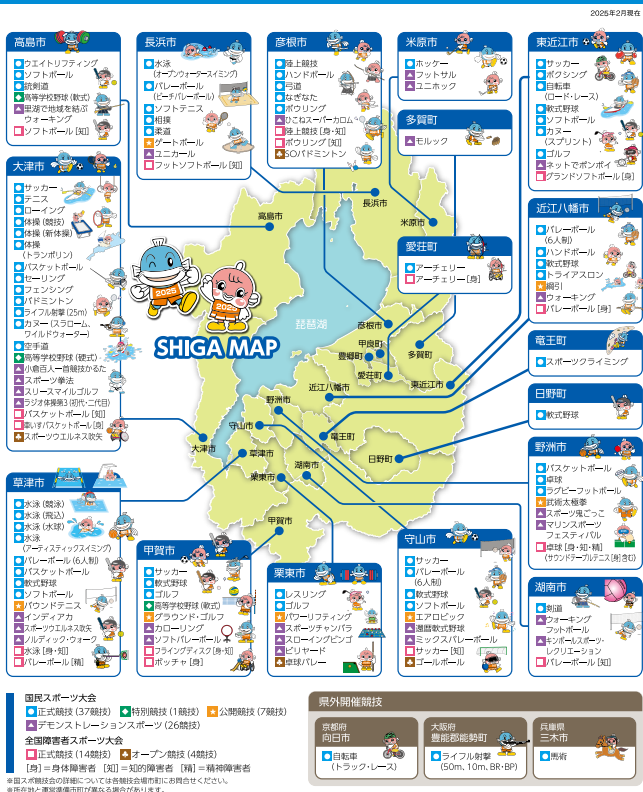
特典

- ① 連盟認定オリジナルグッズ
 - ② オリジナル会員証の発行 (個人)
 - ③ 認定書の発行 (団体)
 - ④ 主催大会へのご招待
 - ⑤ 大会プログラムへのご芳名掲載
 - ⑥ 寄附金税額控除摘要 (証明書の発行)
 - ⑦ 情報のお届け
- 日本綱引連盟の発行する綱引活動報告をお届けいたします



綱引競技は近江八幡市にて8月23日・24日開催です!

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ



すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催!

国体スポーツ大会 令和7年 9月28日(日)~10月8日(水) [11日間開催]
 びわこ大会 令和7年9月28日(日)~9月30日(火) 令和7年10月1日(水)~10月25日(水)
 障害者大会 令和7年10月25日(水)~10月27日(金) [3日間開催]

大会公式SNS・HPはコチラから! 滋賀2025

2024年から国民体育大会(国体)は、国民スポーツ大会(国大)に名称変更されました。

くじを買うはエールになる



19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売: 独立行政法人日本スポーツ振興センター

各県連ならびに各チームの皆様へのお願い

本書の制作にあたり、必要な情報は右記宛先までご寄稿を賜りたく、
ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

宛先 E-Mail: seisekisan@gmail.com
 住所 〒010-1613 秋田市新屋朝日町 23-12 櫻庭 星治 宛

発行日 2025年5月1日
 発行 公益社団法人 日本綱引連盟



〒160-0013
 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 408号
 [TEL] 03-5843-0457 [H/P] https://www.tsunahiki-jtww.or.jp/ [MAIL] jtww@tsunahiki.net